



# 日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山  
**日退教和歌山**  
 640-8114 和歌山市船場町1-6  
 日教組和歌山内  
 TEL 073-436-6820

## 感謝の気持ちを忘れずに

副会長 近藤 仁

ある日、私の携帯電話の着信音が鳴りました。それは懐かしい人からの「日退教和歌山へ入会してくれませんか」とのお誘いの電話でした。和歌山市の中学校を定年退職して、すでに十年近くが経っていました。未だに私のことを覚えていてくれたのだと嬉しく思い「宜しくお願います」と即答しました。

そのお陰で幹事として、会の運営や計画立案等に携わったり、行事に参加したりと楽しい日々を過ごしてきました。

ところが、昨年来よりの新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大により生活が一変しました。その感染は、収束の方向さえ見通せないまま推移しており、日退教が予定している総会をはじめ幾つかの行事を中止せざるを得ない状況となっていました。

そうした中でも本年度がスタートし、この度の役員選考委員会での協議の結果、副会長にと指名をされました。大役で自信のないままお引き受けしましたが、本会の更なる充実発展のため、微力ではありますが役職を全うしていきたいと思えます。

さて、私の好きな言葉 小野道風 の一つに「花美しいと 見詰圖 見えども、ひとり開くに あらず、春風来たりて開くなり」という諺があります。

どんなに美しい花であるうとも、決して自分の力だけで咲くものではありません。風や虫や鳥などによって花粉が運ばれ、花が咲くのです。

私たちも同様に、多くの関わりのある人々の支えや協力があってこそであります。

お世話になった先輩や仲間、周りの人々に感謝の気持ちを忘れずにいたいものです。



## コロナ禍と「医療の逼迫」

竹内 孝子

私が近々入所しようとしている伊丹市の施設で、六月に新型コロナウイルスの患者が出たが、病院に入院できず自室療養となった。その頃大阪府や兵庫県では医療が逼迫していた。そもそも原則「全員入院」という和歌山県とは様子が異なる。

「医療の逼迫」の原因は何か。新聞によると「公立病院の少なさ」がネックになっている。コロナ患者を受け入れているのは「公立病院」だが、その数は2割しかなく「病床不足」を招いている。コロナ患者は厚労省は、近年、436の病院をリストアップして公立病院の統廃合を進めてきたが、皮肉なことに今回、この中の200の病院がコロナ患者を受け入れている。この事実を政府はどうみるのか。

公立病院に限らず公的機関の緊急時に担う役割は大きい。政府には、コロナ禍によって浮き彫りになったこの事実を真摯に受け止め、公立病院の統廃合計画をぜひとも見直してもらいたい。

さて、和歌山県はどうか。県は、感染経路を追い、濃厚接触者にPCR検査を実施、陽性患者を全員入院させるという方針で臨んだ。これは英断だと思う。これには保健所の役割も大きい。

藤本まり子議員に聞いた話だが、国が保健所の再編・統合を進めていたときに、県は断固反対して保健所を減らさなかった(その時のキイマンが野尻孝子さん||県・福祉保健部技官||のこと)。県と保健所のふんばりに救われた思いだ。

また、ワクチン接種がスムーズに進んだのも全国に比べてかかりつけ医等の診療所の数が多いことが大きく影響していると思う。

コロナ禍の中で強く感じたことは、繰り返しになるが、公的機関の役割の重要さである。特に災害等の非常時においては公的機関の脆弱は人的災害を招くことになる。政府だけでなく、私たちが「警鐘」と捉え、考え直さなければならぬ。

注① 毎日新聞の社説(2021.6.2)「公立病院とコロナ禍 再編方針は見直すべきだ」  
 注② 平成元年に38あった保健所の数は令和2年にはあと30年でほぼ半減した。

### 2021年度の主な活動

- ♡ 絵画教室 part 2 (※)  
9月22日(水) 13:30~中央コミセン  
講師は、辻本 渡 さん
- ♡ グランドゴルフ大会(10月中旬)(※)  
(※は「生きがい支援協会」事業です)
- ♡ 秋のバスツアー (只今 企画中!)
- ♡ 確定申告~お手伝いします(2月)

6月23日、コロナ禍の中で今年は総会を断念しましたが、第1回幹事会を開いて、2021年度の活動や役員体制を決定しました。まだまだフル活動とはなりませんが、皆様のご協力をお願いします。

### 新役員体制

2021年4月より  
(太字は新役員です)

会 長	宮本修介		
副 会 長	近藤 仁	辻本義輝	西久保雅彦
	松本幸雄	山田敬夫	
顧 問	岩壺喜久雄	上野清次	
	濱野太一	廣本 満	
事 務 局	竹内孝子(事務局長)	南方栄三(会計)	
	谷口 薫(広報)	赤津美和子	
幹 事	山本博明	湯橋敬一	神前加代子
	岩本 章	大山隆生	岡元清彦
	神谷憲次	川島 栄	鈴木達也
	新谷恵子	中島俊之	藤本真利子
	前田美知子	前中伸彦	宮田紀美子
	山本静章	湯川和洋	
会計監査	岩崎淳子	岡田 均	

紙面交流

近況報告・所感・ご意見  
寄せられたハガキから

# 日退教和歌山新聞

日本退職教職員協会の和歌山  
日退教和歌山  
640-8114 和歌山市船場町16  
日教組和歌山内  
TEL 073-436-6820

皆さん、お元気ですか。  
私は、2年前までフルタイムで43年間働いてきました。昨年4月からは週14時間の非常勤講師として、小学校で勤務しています。月・水の午後は、組合のオルガナイザーもしています。心と体が丈夫な間は働きたいと思っています。人といっばいつながれるし、情報も入ってくるのでストレス知らずです。

また、月に1、2度、ゴルフ場を回り(スコアは100ぐらいでヘタですが)、本もじっくり読んでいます。最近読んだ本でおススメは、ノーベル文学賞を取ったカズオ・イシグロの「クララとお日さま」です。少女とロボットの友情をえがくのが中心ですが、家族のあり方とは何か、また、近未来の世界も体験できます。読後感がとってもほっこりしたのを覚えています。

中島 俊之

早苗を吹き渡る風に乗って、老鶯の美声が高積山より聞こえます。  
チャーミングな音色に癒やされるひとときです。間もなく山田の水口では、三年ぶりにホウネンエビと再会できそうです。(6/10記)

東出 喜裕

今年度も非常勤講師として週に四日間、十時間、三校へ勤務しています。生活リズムがあり、ダブルラした生活にならずに良いと思っています。時間のある日は(家の近くの)和歌山城公園へウォーキングに行っています。

前島 吉富

田植えも終わり、田への水入れとジャンボタニシの食害との戦いに日々を過ごしています。畑の方は夏野菜のとり入れがこれから最盛期。ほとんどは順調に育っていますが、スイカがつる枯れ病にかかりほぼ全滅!ショックです。  
これから秋野菜の畝づくり、頑張ります!  
金権オリンピックええ加減にして欲しい!

湯橋 敬一

定年後、一年間の再任用を経て、今年度はゆっくりのんびりさせていたでいたでいます。  
現職の頃から準備していた子ども食堂をopenさせ、毎月第一、二、三水曜日15:00~18:00まで地域の方々の応援を得て運営しています。もし、協力いただける方は組合までご一報を。

井尻 恵子

各地に非常事態宣言が出されるコロナ禍で全くといっていいほど外出しなくなりました。  
そうした日々でも、毎朝の散歩は欠かさず、同じように散歩をしている人と挨拶を交し、時には諸々の事柄を話し合っ中、お互いに元氣と勇氣を与えあっています。それがストレス発散になり、体調維持にもつながっています。皆様も始めてみませんか。

湯川 和洋

新型コロナウイルスワクチン接種を接種協力医療機関に四月末に予約して五月末ごろに接種できそうと聞いていたのでそのころに病院に行くともう少し時間がかかるかと。予約から五〇日たっても連絡がないので保健所に行くことと集団接種を予約、五日ほどで受けられました。接種協力機関も、もっと方法があるのではと思えました。

前中 伸彦

## 一筆啓上

### 新会員の紹介 (アイウエオ順)

2021年3月現在  
職場

お名前			
岡本 晶彦	さん	(山口小)	
北垣 恵弥	さん	(貴志中)	
坂口 智洋	さん	(楠見中)	
早山 智万子	さん	(浜宮小)	
松尾 良子	さん	(在宅)	
迎井 雅文	さん	(高積中)	
山本 眞也	さん	(王子が浜小)	

※行事等で出会えるのを楽しみにしています。

## 訃報

根岸 佐久子 様

2021年(令和3年)5月14日

ご逝去されました。

ご冥福をお祈りいたします。

### 略歴

- 昭和57年4月~楠見中学校
- 平成1年4月~高積中学校
- 平成12年4月~東中学校
- 平成19年4月~紀之川中学校
- 平成20年4月~高積中学校
- 平成27年3月早期退職

※いずれも学校は和歌山市立 職種は教諭

晴耕雨読の生活も6年目になりました。  
コロナ禍での歌二首です。  
・いい加減な性格なれど借りし本  
除菌シートで表紙を撫ぐる  
・ワクチンに期待を寄せる高齢者  
その端くれに我も連なり  
「青春の詩」 サミュエル・ウルマン作に  
「人は歳月を重ねたから老いるのではない。  
理想を失うときに老いるのである。」  
好きな詩の抜粋です。元氣もええです。  
時間があれば全文をお読みなさい。

浅野 由隆

日退教の皆様、いつもお世話になっています。お元氣でしょうか。私もおかげ様で元氣に活動させていただいています。趣味と実益をかねて、三味線と民謡のおけいこを続けていますが、このコロナ禍の中、施設の訪問もままならず、早く終息することを願うばかりです。腕前はまだまだですが、何かイベントがあれば声をかけて下さいね。  
議員活動の方が教員生活より長くなってしまいました。いつも心は組合とともにあります。これからもよろしくお祈りいたします。

藤本 眞利子